

## 1. 早稲田大学職員人材育成行動指針

「世界に誇れる早稲田大学職員へ」

～全職員が人材育成に関して持つべき行動指針～

- ・職員は大学・箇所のミッションの達成に向けて、常に能力の開発・向上に自ら努めている。
- ・管理職の役割は、大学・箇所のミッションの達成と組織力の強化であり、部下育成を最優先して行っている。
- ・職員はお互いの能力開発・向上に協力し、また、切磋琢磨している。
- ・世界の中で早稲田大学がどうあるべきかを理解し、その上でグローバルに活躍し世界に貢献している。

## 2. SDプログラム開発方針

- ・WASEDA VISION 150 の実現に必要な能力の開発を行う。

【目指す姿(20年後)】

- 全職員が修士、博士あるいは高度な専門資格を取得し、高いマネジメント力・専門性を活かして、教員と連携しながら大学運営・人材育成等を行っている。
- 全職員が TOEIC800 点以上相当の英語、中国語あるいは朝鮮語能力を習得し、複数の外国語を駆使しながら、グローバルに貢献・活躍している。
- 職員の多様化を進め、お互いを尊重するとともに、個々の個性・強みを活かしている。
- 全職員が異文化を理解し、グローバルマインドを持って、業務にあたっている。
- 全職員が海外就業経験・留学経験を有している。
- ・全職員に求められる能力として、マネジメント力の養成に重点を置く。
- ・業務・OJT・Off-JT・自己啓発・プロジェクト等を通じたトータルの人材育成と組織力強化を図る。
- ・個々のニーズに合わせた研修の提供・支援を行う。